

令和3年度 第40回
北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会

新型コロナウイルス感染症対策

「競技・運営上の注意」

(令和3年12月1日現在)

北海道バドミントン協会

1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会および北海道バドミントン協会が作成した「新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」、「競技・運営上の注意」、その他関係諸団体のガイドラインに準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施します。

2. 会場への入場制限および無観客試合の実施について

- ① 本大会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から入場者の制限をするとともに、無観客試合での大会実施とする。会場内への出入りについては、原則当日試合に出場する選手、監督（顧問）外部指導者（コーチ）・マネージャー、役員（審判含む）および補助生徒のみとします。（以下、大会関係者とする）
- ② 試合観戦を目的とする保護者等の入場は認めません。ただし、引率責任者（＝監督）として事前に登録をされた保護者、外部指導者（コーチ）などは入場を認めます。
- ③ 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、大会関係者は次の書類を必ず提出してください。

【提出書類A】健康状態確認シート一覧（学校用）

- 初日の受付時に提出してください。（男女まとめてもよい）
- 各自、自宅（宿泊先）で検温を済ませておいてください。

【提出書類B】健康状態確認チェックシート（個人用）

- 監督又は責任者が入場者人数分を回収して受付に提出してください。【書類A】の提出は不要です。
- 役員については、大会初日から【書類B】のみ提出する。

【書類A】・【書類B】は、主催者等で一定期間保管し、期間経過後はシュレッダー処理をします。

- ④ 体調がよくない場合（発熱・咳・倦怠感などの症状がある）は、自主的に参加を見合わせてください。
- ⑤ 37.5度以上の発熱がある場合は、入場を認めません。
- ⑥ 大会関係者は、常時マスクを着用してください。（試合時および練習時は除く）
- ⑦ 試合が終了した選手は、審判業務終了後に監督（引率者）とよく相談の上、保護者の協力を得て帰宅に努めて下さい。
- ⑧ 「新北海道スタイル」安心宣言を掲示し啓発を行います。

3. 会場内で使用する物品について

- ① 感染拡大予防として使用する消毒薬、遮蔽用具、非接触型体温計等を事前に準備します。（消毒薬の残量チェックを定期的に行います。）
- ② 出入り口付近や通路にアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会関係者が密な状態にならないように、あらかじめ定員を設定し、間隔を空けるなど配慮します。

4. 開場時間・受付について

- ① 体育館開場時間は8:00の予定です。練習割当等を考慮し、入場の順番を指示する場合があります。その際は、ご協力ください。
- ② 会場の入り口に受付を用意します。「プログラム」、「参加料領収書」、「競技・運営上の注意」、「IDカード（入場証）」を同封した封筒を受け取って下さい。
- ③ IDカードは大会期間中、必ず身につけること（試合時の選手は除く）。帰る際はIDカードを受付に戻して下さい。IDカードの発行対象者は、参加申込書に記入された選手・監督・マネージャー・外部指導者（コーチ）・引率者として登録された保護者です。

5. 大会会場内に関する確認事項

- ① 換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行います。
- ② 密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの掲示はしません。
- ③ 外履きは袋に入れ各自で管理してください。
- ④ 更衣室は手指などの消毒を徹底して使用してください。シャワー・ロッカーの使用は禁止します。
- ⑤ 食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底してください。
- ⑥ 待機場所および観戦については、指定された場所や席または距離を開けて行い、席の移動は禁止します。応援は拍手のみとします。手拍子、鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援も禁止とします。

6. 大会本部

- ① 大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保します。
- ② 関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにします。確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行います。
- ③ 共用スペース（トイレ・控え室・食事場所等）および共有物品については、定期的に消毒を行います。

7. 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類について

バドミントンの大会は体育館内で行われるため、換気については特に配慮が求められます。また、競技で使用する用具には不特定多数の方が直接手を触れる物が多いため、大会期間の前後を含む継続した対応を行います。

- ① 遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行います。
- ② 窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行います。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知します。
- ③ 毎試合終了後の審判用具（筆記用具・ボード・カゴ）・審判台・線審席・コーチングシート・得点係席を消毒します。
- ④ コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管して下さい。
- ⑤ 団体戦におけるベンチは2席設置します。コーチングシートは団体、個人ともに1席設置します。
- ⑥ インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しません。
- ⑦ コートのモップ掛けは、毎試合終了後に行います。
- ⑧ フロア内にハードタイプのクーラーボックスの持ち込みは禁止とします。
- ⑨ 氷嚢は保冷バッグ等に入れて保管して下さい。床に直接置くことは禁止します。
- ⑩ フロア内でのビデオ撮影は禁止します。（コンピューター、タブレット、スマホ含む）

8. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ① 線審、得点係等は、マスクを着用します。
- ② 選手同士や審判員との握手は行いません。
- ③ トスは、フィジカルディスタンスを確保して行います。
- ④ コールは、必要最小限とします。
※「プレー」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- ⑤ シャトルの交換は主審に確認の上、選手がシャトルを直接筒から取り出し、使用済みシャトルは選手が回収ボックスに入れてください。（主審の足もとに設置する）※定期的に競技役員が確認する。
- ⑥ プレーヤー同士や監督・コーチとのハイタッチ等の接触を行わないでください。また、ラケット・タオル等の用具の貸借はしないでください。

- ⑦ 汗をコート内やコートサイドに投げないでください。
- ⑧ シューズの裏を手で拭かないでください。
- ⑨ 試合中の声出しは、極力控えてください。
- ⑩ コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行ってください。
- ⑪ コーチングシートは、チェンジエンス毎に持って移動して下さい。
- ⑫ 競技中の着衣は、令和3年度(公財)日本バドミントン協会審査合格品を着用してください。着衣表示については(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条によります。但し、ウェアの表示、背面表示については、一部(公財)日本中学校体育連盟バドミントン競技部申し合わせ事項を加えてください。背面表示は、背面中央部にゼッケン(縦15～20cm 横30cm、文字の高さは各列6～10cm)を付け、上段に学校名・下段に選手名を明記してください。
- ⑬ 着衣や背面表示に不備がある場合は、更衣をお願いすることがあります。
- ⑭ 団体戦・個人戦ともに敗者地区責任審判制とします。ご協力をお願いします。

【試合について】

- ① 団体戦の選手変更届は、大会初日8：30までに受付または本部席に提出して下さい。
- ② 団体戦は2コートを同時に使用しての並行試合を行います。試合の勝敗は、第1複・単・第2複のうち、いずれか2マッチを先取したチームの勝ちとします。また、進行の関係で3コート同時に進行することがあります。この場合は、できる限り監督に確認の上で実施します。また、どちらかのチームが初戦の場合は第2複まで行い、それ以降は勝敗決定(2マッチ先取)後、打ち切りとします。
- ③ 団体戦のマッチ前練習は、練習コートは番号の若い方のコートでトーナメント表の上のチームが、残りのコートで他方のチームが練習をし、その後、第1複と単の試合を行います。なお、先に終わったコートで第2複の試合を行います。1コートで団体戦を行う場合は、トーナメント表の上のチームが先に2分間の練習を行い、続いて他方のチームが行います。いずれも主審の合図で2分間ずつ行うこととするが、双方とも必ず練習を行うものとします
- ④ 個人戦のマッチ前練習は、原則として主審が来るまでの間とします。また、単の場合は対戦相手と行い、複の場合はパートナー同士で行うものとします。
- ⑤ 団体戦・個人戦ともに、マッチ前練習の練習球は各校で準備して下さい。
- ⑥ 選手は、定時(指示のあった時刻)に速やかに試合コートに入って下さい。
- ⑦ 試合が終了したら、主審の指示により対戦相手と挨拶をしてから退場して下さい。

9. 開閉会式・代表者会議・公開練習について

- ① 開会式及び閉会式は実施せず、表彰のみ随時行います。
- ② 代表者会議は実施せず、この新型コロナウイルス感染症対策「競技・運営上の注意」とあわせて、大会初日の朝に放送にて周知します。
- ③ 公開練習は通常どおり行います。

10. その他

- ① ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分して下さい。
- ② 適宜手洗いやうがい等により感染症の予防に努めて下さい。
- ③ ホテル・旅館等に宿泊する場合は、大部屋を避けてシングルあるいはツインの部屋を手配するよう努め、宿泊施設の新型コロナウイルス感染症防止対策に従って下さい。
- ④ 移動手段として貸切バス等を利用する場合は、利用者は最小限の人員とし、できるだけ間隔を空けて座るよう配慮して下さい。また、乗車中もマスクは着用して下さい。